

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論 (多文化社会論)
教員	教授：森口 由香 (アメリカ史・アメリカ研究)
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;</p> <p>英語リーディング/ライティング・リスニング/初修外国語/国際政治論Ⅰ・Ⅱ/西洋史Ⅰ・Ⅱ/東洋史Ⅰ・Ⅱ/中東近現代史/アメリカ現代史入門/政治学Ⅰ・Ⅱ/国際法入門など。</p> <p>&lt;学部科目&gt;</p> <p>多文化社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/多文化社会論演習ⅠA・ⅠB/国際関係論ⅠA・ⅠB/近代移民史A・B/欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B/公共政策論Ⅰ・Ⅱ/Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ/国際文明学入門A・Bなど。</p> <p>多文化社会論やアメリカ史関係を中心としつつ、英語や欧米圏に関する科目のみならず、人文・社会科学の様々な分野に関心に応じて幅広く学んでください。例えば上記のような科目を推奨します。年度によって科目名が変わる場合があるので、特に学部外科目についてはKULASISで事前に確認してください。</p>
3～4回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;</p> <p>外国文献研究-E1リーディング/英語以外の外国語科目</p> <p>&lt;学部科目&gt;</p> <p>多文化社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/多文化社会論演習ⅠA・ⅠB/国際関係論演習ⅠA・ⅠB/近代移民史演習A・B/欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/中東近現代史/国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B/Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱなど。 (1～2回生の欄に挙げた科目や、その演習科目などを必要に応じて選択してください。)</p> <p>卒業論文</p> <p>卒業研究に向けて、多文化社会論やアメリカ史・アメリカ研究を中心に、上に掲げた科目等を必要に応じて選択してください。科目選択に迷った場合には遠慮なく教員に相談してください。</p>
<p>担当教員の専門分野はアメリカ史・アメリカ研究ですが、文字通り「多文化」を凝縮したようなアメリカ社会は、世界の他の地域と、政治・経済・軍事・文化など様々な側面につながっています。アジア、中東、ヨーロッパ等、世界のさまざまな地域の歴史・政治・文化について幅広く学び、「世界の中のアメリカ」や「アジア太平洋地域のアメリカ」を見る眼を養いましょう。ここに挙げた科目はあくまでも例ですので、個別テーマに合わせた科目履修については、ぜひ気軽にご相談ください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論 (国際関係論分野)
教員	教授：齋藤 嘉臣
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 英語／初習外国語／国際政治論Ⅰ・Ⅱ／政治学Ⅰ・Ⅱ／ 経済学Ⅰ・Ⅱ／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／国際法入門／ 法学／西洋史Ⅰ・Ⅱ／東洋史Ⅰ・Ⅱ／芸術学Ⅰ・Ⅱ／社会学Ⅰ・Ⅱ／文化人類学Ⅰ・Ⅱ</p> <p>&lt;学部科目&gt; 国際文明学入門A・B／国際関係論ⅠA・ⅠB／多文化社会論ⅡA・ⅡB・ⅡA／ 国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B／ 公共政策論Ⅰ・Ⅱ／社会経済システム論(Ⅰ・Ⅲ)A・B</p>
	<p>国際関係論を中心としながらも、それに限らず人文学・社会科学の多様な分野を学んで下さい。 例えば上記のような科目を、関心や必要に応じて履修することを推奨します。</p>
3～4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国際関係論演習ⅠA・ⅠB／ 社会経済システム論演習(Ⅰ・Ⅲ)A・B／ 公共政策論演習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B／ 文明構造論演習ⅢA・B</p>
	<p>&lt;1～2回生&gt;に掲げた科目等を中心に幅広く履修して下さい。 また、卒業研究に向けて必要な知識を自主的に学修して下さい。</p>

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
教員	教授：小畑 史子（労働法） 准教授：見平 典（憲法・司法政治） 准教授：菊池 亨輔（法哲学・法思想）
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 法学／日本国憲法／労働と法／思想と法／統治機構論／政治学Ⅰ・Ⅱ／基礎演習：労働と法／基礎演習：現代社会と法／基礎演習：法哲学／労働と法 基礎ゼミナール／現代社会と法 基礎ゼミナール／法哲学 基礎ゼミナール 等。</p> <p>&lt;学部科目&gt; 国際文明学入門A・B 等。</p> <p>法学系科目だけに限定することなく、社会科学、人文学系の科目を幅広く受講してください。他の開講科目については、KULASISその他の情報を適宜参照してください。</p>
2回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／国際関係論ⅠA・ⅠB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB／多文化社会論ⅠA・ⅠB／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB 等。</p> <p>社会科学（特に政治学、経済学、公共政策学、社会学など）を広く学ぶとともに、全共科目・学部科目ともに法学系の発展的科目を受講して、より専門的な問題関心を深めてください。</p>
3回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／国際関係論ⅠA・ⅠB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB／多文化社会論ⅠA・ⅠB／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB／国家・社会法システム論演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／卒業論文（指導）等。</p> <p>卒業研究で取り組む具体的な課題・主題を探求し、特定するための大事な時期です。学部開講の講義科目はもちろんのこと、演習科目も積極的に受講して、これならと思えるテーマを探り当ててください。</p>
4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／卒業論文（指導）等。</p> <p>講義・演習への出席を通じて自分の関心に即した専門的な知見を深めるとともに、卒業論文の執筆に取り組む時期です。なるべく早いうちから指導教員と相談しながら、学部での学習過程の仕上げに専念してください。</p>
<p>入学当初から法学に関心をもって総合人間学部に入ってくる人は稀かもしれませんが、主な隣接分野（政治学、公共政策学、経済学、歴史学、倫理学、社会学）を学ぶ上でも、法学はしばしば避けて通れない領域を形作っています。また、国内外の具体的な社会問題を考える際にも、法学的な知見は大変大きな力になってくれるはずです。自分の関心に独自の角度から接近するためにも、法学上の知識と技法を思考の道具箱の一つに加えてみてはどうでしょうか。教員の専門分野はそれぞれ分かれています。まずは自分の興味関心が法学とどう関わってくるのか、気軽に相談してみてください。思わぬ視野が開けるかもしれません。（※上記諸科目の中には、隔年開講科目もあります（社会経済システム論ⅢA・ⅢB、多文化社会論ⅠA・ⅠB等）。各年度に開講される科目については、開講科目表にて確認してください。）</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論（現代社会論分野）
教員	教授：大黒 弘慈（経済原論／経済思想） 准教授：柴山 桂太（マクロ経済学／経済思想）
1回生	<p>〈全学共通科目〉 経済学Ⅰ・Ⅱ／現代文明Ⅰ・Ⅱ／基礎演習：経済思想／基礎演習：社会経済システム論 〈学部科目〉 国際文明学系入門A・B／社会経済システム論ⅠA・ⅠB</p> <p>経済学に限らず、人文科学、社会科学の様々な分野を幅広く学んでください。</p>
2回生	<p>〈全学共通科目〉 統計リテラシー／現代経済経済社会論ⅠA・ⅠB／経済原論基礎ゼミナール／社会・経済システム原論基礎ゼミナール 〈学部科目〉 社会経済システム論ⅢB／社会統計論A・B／国際関係論ⅣA・B／現代社会論ⅡA・B／現代社会論（メディア社会史） 経済学を中心とした社会科学の基礎を幅広く学ぶとともに、発展的な科目についても履修することを推奨します。</p>
3回生	<p>〈学部科目〉 社会経済システム論演習ⅠA・ⅠB／社会経済システム論演習ⅢA・ⅢB</p> <p>卒業研究の方向性を意識しつつ、専門的な内容を学修してください。必要に応じて、経済学部開講の専門科目も履修してください。</p>
4回生	<p>〈学部科目〉 社会経済システム論ⅢB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB</p> <p>卒業研究に向けて、必要な知識を自主的に学修してください。</p>
<p>経済学の基礎的素養を身につけることはもちろん大切ですが、同時に経済学的思考法を相対化する目を養うことを忘れないでください。そのために人文科学・社会科学を分野横断的に幅広く学修してください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論（公共政策論分野）
教員	教授：浅野 耕太（経済学）、佐野 亘（政治学）
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 政治学Ⅰ／政治学Ⅱ／経済学Ⅰ／経済学Ⅱ／国際政治論Ⅰ／国際政治論Ⅱ／法学／環境と法／思想と法／統計リテラシー／環境経済・政策論基礎ゼミナール、など</p> <p>&lt;学部科目&gt; 公共政策論Ⅰ／公共政策論Ⅱ／国際関係論ⅠA／国際関係論ⅠB／社会経済システム論ⅠA／社会経済システム論ⅠB／国家・社会法システム論ⅠA／多文化社会論ⅠA／基礎演習：公共政策論Ⅰ／基礎演習：公共政策論Ⅱ／基礎演習：環境経済・政策論、など</p>
	<p>ひろく社会科学に関する基礎的な知識を身につけることで、どのような方法論やアプローチにもとづいて公共政策に関わる問題について考察・分析をおこなうのか、考えられるようになることを目指す。</p>
3～4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 公共政策論演習ⅠA・ⅠB／公共政策論演習ⅡA・ⅡB／公共政策論演習ⅢA・ⅢB／社会経済システム論演習ⅠA・ⅠB、その他社会相関論または共生世界講座の諸科目</p>
	<p>1, 2回生に引き続き、ひろく社会科学に関する諸科目を履修するとともに、公共政策に関する演習に参加し、より専門的な知識や分析手法を身につけることにより、卒業論文の完成を目指す。</p>
<p>卒業論文を書くにあたっては、できれば、複数の演習に参加し、複数の先生にアドバイスをもらうことが望ましい。公共政策はさまざまな学問領域に関係するからである。必要であれば、他学部の講義を受講することも望ましい。積極的に学ぶ意欲さえあれば、総合人間学部ならではの、他の学部ではできないような研究をおこなうことが可能です。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7. 共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	歴史文化社会論（歴史社会論分野）
教員	教授：佐藤 公美 准教授：福元 健之 講師：Bhatte, Pallavi Kamlakar
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 西洋史Ⅰ・Ⅱ、Western HistoryⅠ-E2・Ⅱ-E2 ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールⅠ、 &lt;学部科目&gt; 基礎演習：ヨーロッパ近現代史入門、基礎演習：Contemporary History 現代史（以上、ILASセミナーと同一科目）</p> <p>共生世界講座（または東アジア文明講座）の教員が担当する歴史学関係の全学共通科目のほか、人文・社会科学科目群、自然科学科目群などから、幅広く学識を身につけていきましょう。学系入門科目や外国語ももらさず履修しておいてください。</p>
2回生	<p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講） Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ</p> <p>共生世界講座（または東アジア文明講座）の教員が担当する2回生履修可能な学部科目を履修し、専門的な研究にふれていきましょう。副専攻科目についても履修していきましょう。また、日本史各論など、歴史学関係の全学共通科目の各論履修も望ましいでしょう。</p>
3回生	<p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講）、 欧米歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論演習ⅡA・ⅡB、 Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ</p> <p>卒業論文の内容と、それに伴う指導教員の選択を念頭に、西洋史と現代史の科目に重点をおいて履修してください。あわせて、共生世界講座（または東アジア文明講座）の学部科目や、文学部など他学部の授業を履修し、深い学識を身につけていきましょう。</p>
4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講）、 欧米歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論演習ⅡA・ⅡB、 Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ</p> <p>指導教員と相談して卒業論文のテーマを決め、それに適した授業を履修しましょう。</p>
<p>歴史学の知識や方法を体得し、よりよい卒業論文を作成するというのが最終的な目標です。総合人間学部の特色を生かして、歴史学だけでなく幅広い学問に接し、独自のテーマや分析視角を見つけ出してください。わからないことや迷うことがあれば、ためらわずに共生世界講座の西洋史、現代史の教員へ声をかけてください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	文化環境学系
関係・分野	比較文明論
教員	准教授：徳永 悠
1回生	<p>〈全学共通科目〉英語リーディング／英語ライティング・リスニング／現代史概論／偏見・差別・人権          〈学部科目〉近代移民史基礎ゼミナール</p> <p>日本を含む世界各地の歴史について学んでください。また、歴史学以外の人文・社会科学の授業も幅広く受講してください。交換留学を希望する場合は一回生の時点で準備を始めましょう。近代移民史基礎ゼミナールは毎年開講するとは限りません。</p>
2回生	<p>〈全学共通科目〉外国文献研究-E1（国際移住—移民の視点から理解するグローバル化）／Japanese History I-E2・II-E2／Introduction to Globalization I-E2・II-E2／ラテン・アメリカ現代社会論          〈学部科目〉近代移民史A・B／近代移民史演習A・B／多文化社会論A・IB／多文化社会論演習IA・IB          〈他学部〉社会学・講読：社会学の基礎的文献の英語講読（文学部）／現代史学・特殊講義：日本社会運動史（文学部）</p> <p>引き続き、人文・社会科学の授業を幅広く受講しながら、移民史研究の基礎的な力を身に付けてください。近代移民史A・Bは隔年開講です。</p>
3回生	<p>〈学部科目〉近代移民史A・B／近代移民史演習A・B          〈他学部〉社会学・特殊講義（Welfare Regime and Cross-Border Migration in Asia: labor, marriage and evacuation、文学部）</p> <p>移民史に関する専門的な内容を学ぶとともに、卒業論文の構想を練り、具体的な調査計画を立ててください。オフィスアワーを活用して卒業論文について指導教員に相談してください。近代移民史A・Bは隔年開講です。</p>
4回生	<p>〈学部科目〉近代移民史演習A・B／卒業論文</p> <p>卒業論文の調査と執筆に取り組んでください。オフィスアワーを活用して卒業論文について指導教員に相談してください。</p>
<p>移民史は、国境を越えて移動する個人の視点を重視し、一国史の枠組みを超えて「外国人」や「移民」をめぐる様々な事象について理解を深めるという点で、現代世界と関わりの深い歴史学の分野です。卒業までに、環太平洋地域に焦点を当てて移民史を学び、移民社会における人種差別や経済格差、さらに相互理解や共生の可能性について、調査、考察、表現する力を身に付けることを目標とします。指導を受ける学生は「近代移民史A・B」と「近代移民史演習A・B（重複履修可）」を必ず受講してください。在学中の交換留学を強く勧めます。</p> <p>履修モデルで推薦した科目については、毎年開講しているとは限りません。シラバスを見たり、担当教員に質問したりして事前に確認してください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	文化環境学系
関係・分野	比較文明論
教員	准教授：三代川寛子（中東近現代史）
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;            人文社会学系の諸科目、特に近現代史、人類学、社会学、宗教学などの入門科目、地域研究基礎ゼミナールなど            初修外国語（特に英語、フランス語、アラビア語）            &lt;学部科目&gt;            リレー講義「文化環境学系入門」、その他基礎演習</p> <p>人文・社会科学の様々な分野を幅広く履修し、自分の学問的関心がどこにあるのか見極めていきましょう。例として上記のような科目を推奨します。年度によって科目名が変わる場合があるので、特に学部外科目についてはKULASISで事前に確認してください。</p>
2～3回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;            英語リーディング/ライティング・リスニング/初修外国語（アラビア語）            &lt;学部科目&gt;            中東近現代史、共生世界論演習、多文化社会論、ユーラシア文化複合論、近代移民史、欧米歴史社会論、Contemporary and Modern History、国際文明学入門など。</p> <p>卒業論文執筆を念頭に置きつつ、中東近現代史や共生世界論演習を中心に、上に掲げた科目等を必要と興味関心に応じて履修してください。科目選択に迷った場合はオフィスアワーを活用して教員に相談してください。</p>
4回生	<p>&lt;学部科目&gt;共生世界論演習A・B/卒業論文</p> <p>卒業論文の執筆に取り組んでください。オフィスアワーを活用して、資料収集や目次の立て方など卒業論文に関連する指導を教員に相談してください。</p>
<p>担当教員はエジプトの近現代史を専門としており、特にエジプトのキリスト教徒（コプト正教徒）をめぐる宗教マイノリティの国民統合問題に取り組んできました。卒業までに、中東地域に焦点を当てて近現代史を学び、植民地支配が多方面に残した影響、国民国家建設に伴って発生したマイノリティ問題、宗教・民族差別問題や経済格差、開発格差、さらにそれらを乗り越えるための相互理解や共生の可能性について、調査、考察、表現する力を身に着けることを目標とします。ここに挙げた科目はあくまでも例ですので、シラバスを見たり、担当教員に相談したりして履修計画を立ててください。</p>	